
2024年度 第3四半期業績

決算説明資料

地球の恵みを、社会の望みに。



2025年2月7日

エア・ウォーター株式会社
2024年度 第3四半期決算説明スクリプト

説明者

代表取締役社長・COO 松林 良祐
理事 広報・IR推進室長 植杉 文

2025年2月7日

はじめに

- 2024年度 第3四半期業績のポイント 4
- グループシナジー最大化と新規事業創出 5

2024年度 第3四半期業績

- 連結損益計算書 7
- セグメント別 売上収益 8
- セグメント別 営業利益 9
- セグメント別 売上収益・営業利益 10
- 連結財政状態計算書 15
- キャッシュ・フローの状況 16

2024年度 通期業績予想

- 2024年度 通期業績予想 18
- セグメント別 通期業績予想 19
- 年間配当の予想 20

補足資料

- セグメント別 主な事業内容 22
- 連結対象会社数 23
- ユニット別 売上収益 24
- 国内ガス種別 売上収益 25
- セグメント別 事業利益 26
- 地域事業会社 売上収益 27
- 主要グループ会社/グローバル&エンジニアリング 分野別
売上収益 28
- 売上収益・営業利益の推移 29
- ROE・当期利益の推移 30
- 配当の推移 31
- 直近の主なリリース一覧 32

はじめに

●：過去最高値

(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減		24年度 (予想)
			金額	率	
売上収益	7,447	●7,849	+402	105.4%	11,000
営業利益	498	●532	+34	106.8%	780
親会社所有者 帰属四半期利益	310	●350	+40	112.8%	500
営業利益率	6.7%	6.8%	+0.1pt	-	7.1%

売上収益、営業利益ともに
過去最高業績を更新

第3四半期実績

- 機能材料分野が前年同期を下回ったものの、国内産業ガスの価格マネジメントの進展、半導体工場の新增設を背景とした機器・装置の販売増、データセンター向けUPS（無停電電源装置）・海外産業ガス事業の拡大（新規連結効果）等により全セグメントで増収増益。

2025年3月期 連結業績予想

- 前回公表数値からの修正なし、前期対比で増収増益の見通し。

説明者：代表取締役社長・COO 松林 良祐

エア・ウォーターの第3四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本決算の全体概況についてご説明させていただきます。

2024年度 第3四半期累計の業績は、売上収益、営業利益ともに過去最高を更新しました。売上収益は7,849億円、前年同期比5.4%増、営業利益は532億円で6.8%増、親会社所有者帰属利益は350億円で12.8%増という結果となり、営業利益率は6.8%となりました。機能材料分野が前年同期を下回ったものの、国内産業ガスの価格マネジメントの進展、半導体工場向け機器・装置の販売増加、データセンター向け無停電電源装置・海外産業ガス事業の拡大などにより全セグメントにおいて増収増益となりました。半導体市況や物価上昇、為替など先行き不透明な事業環境が続きますが、グループの総力を挙げて、成長戦略の推進、事業間シナジーの創出に取り組んでいきます。なお、通期の業績予想については、前回公表数値からの修正はございません。

グループシナジー最大化と新規事業創出

- オープンイノベーションによる研究開発・新製品開発を通じた新規事業創出
- 人材・知財を集約・蓄積しグループシナジーを最大化、成長領域で更に拡大
- 次世代の技術者（研究開発、エンジニア等のプロフェッショナル）育成

地域・社会課題解決を通じた新規事業創出

エア・ウォーターの森

北海道をベースにした産学官地域連携による地域課題解決
[2024年12月開所]



成長領域の拡大に向けた エンジニアリング体制の強化

総合エンジニアリングセンター（仮称）

- 海外・半導体向け産業ガス事業のエンジニアリング体制強化
- 人材・技術・ノウハウの集積・知財蓄積及び人材育成
[2025年4月開所予定]



エア・ウォーター健都

国際くらしの
医療館・神戸

地球の恵みファーム・松本
(建設中)

研究開発・新規事業創出

湘南イノベーションラボ

- 半導体・電池材料の開発・事業創出
- 社内外の交流を通じた技術者育成とオープンイノベーションの推進
[2025年1月開所]



次に、説明資料の5ページをご覧ください。

成長領域でのグループ総合力の強化、新事業創出に向け、お話をさせていただきます。エア・ウォーターグループは、成長領域としてインド、北米における産業ガス事業やエレクトロニクス関連事業に注力し、その事業推進力強化や製品及び技術開発に取り組んでいます。

また、同時に、中・長期のテーマとして、「カーボンニュートラル」、「アグリ」分野における社会課題の解決を実現する事業創出に取り組んでいます。

これらの戦略実現に向けて、イノベーションや新たな価値創出の強化を進めており、昨年12月に、札幌・桑園において、オープンイノベーション拠点「エア・ウォーターの森」を開所しました。ここでは、大学、企業、スタートアップ、自治体などと連携し、「エネルギー・環境」や「農業・食」を中心とした新事業の創出に取り組みます。

また、今年1月に、神奈川県平塚市に半導体材料や電池材料の研究開発拠点となる「湘南イノベーションラボ」を開所しました。ここでは、半導体材料、電池材料に関わる技術者を集約、技術シナジーを最大化し、エレクトロニクス分野の新製品・新事業創出を加速しています。

そして、グローバルでの産業ガス事業の競争力強化、収益力強化を目的として、今年4月に大阪府堺市にエンジニアリングセンターを開所し、プラントエンジニアリング力、プラントやプラント機器の開発力の強化を図っていきます。

これらの投資は、グローバル人材や技術人材の育成に向けての人的資本投資の一環であり、人材育成実現の場となる拠点の整備を進め、成長戦略を実行してまいります。

2024年度 第3四半期業績

© AIR WATER INC | 6

説明者：理事 広報・IR推進室長 植杉 文

2024年度第3四半期業績の詳細についてご説明いたします。

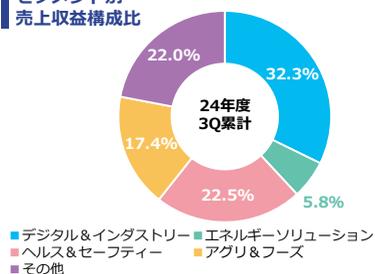
(単位：億円)	23年度3Q累計	24年度3Q累計	増減	
			金額	率
売上収益	7,447	7,849	+402	105.4%
売上原価	▲5,838	▲6,151	▲313	
売上総利益	1,609	1,698	+89	105.6%
販売費・一般管理費	▲1,154	▲1,230	▲76	
その他の収益・費用	24	28	+5	
持分法による投資利益	19	35	+16	
営業利益	498	532	+34	106.8%
金融収益・費用	▲5	▲1	+5	
税引前四半期利益	493	531	+38	107.8%
法人所得税費用	▲169	▲171	▲2	
非継続事業からの四半期利益（▲は損失）	0	▲0	▲0	
四半期利益	324	360	+36	111.1%
親会社の所有者に帰属する利益	310	350	+40	112.8%
非支配持分	14	10	▲4	
営業利益率	6.7%	6.8%		
基本的1株当たり四半期利益※	136.32円	153.19円		

※ 基本的1株当たり四半期利益は期中平均発行株式数により算出しています。

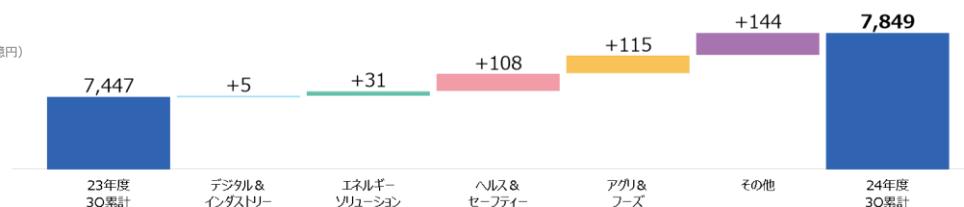
全体数値ですが、先ほど社長の松林からご説明申し上げました通り、売上収益が402億円のプラス、営業利益が34億円のプラスで増収増益となりました。営業利益率は6.8%となりました。

(単位：億円)

グループ	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	
			金額	率
デジタル&インダストリー	2,529	2,534	+5	100.2%
エネルギーソリューション	429	459	+31	107.2%
ヘルス&セーフティー	1,657	1,765	+108	106.5%
アグリ&フーズ	1,250	1,365	+115	109.2%
その他	1,582	1,725	+144	109.1%
合計	7,447	7,849	+402	105.4%

セグメント別
売上収益構成比

(単位：億円)



© AIR WATER INC. | 8

続きましてセグメント別の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
資料の8ページ、9ページをご覧ください。

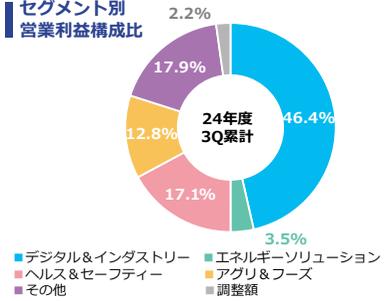
売上収益、営業利益とも全てのセグメントで前年を上回る結果となりました。
続きまして、セグメント別の数値についてご説明いたします。
資料の10ページをご覧ください。

(単位：億円)

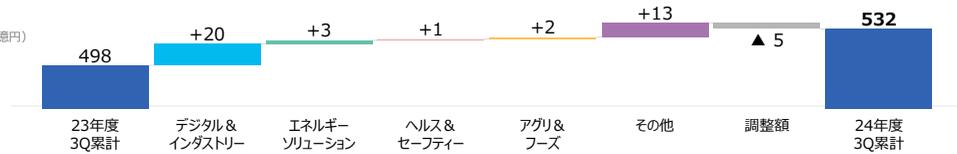
グループ	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	
			金額	率
デジタル&インダストリー	227	247	+20	108.7%
エネルギーソリューション	16	19	+3	120.3%
ヘルス&セーフティ	90	91	+1	101.5%
アグリ&フーズ	67	68	+2	102.4%
その他	82	95	+13	115.8%
調整額*	17	12	▲5	69.0%
合計	498	532	+34	106.8%

※調整額：セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない当社本部門の損益

セグメント別
営業利益構成比



(単位：億円)



(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	2,529	2,534	+5	100.2%
営業利益	227	247	+20	108.7%
営業利益率	9.0%	9.8%	+0.8pt	-

主な増減要因

売上収益 +5億円

- 【+】
 - ・ 産業ガスの価格改定 ●
 - ・ 半導体関連向けオンサイトガス、機器等の販売増 ★
- 【-】
 - ・ 半導体製造装置向けOリングの販売減 ◆
 - ・ オンサイトガス供給の販売単価の下落 ● ★

営業利益 +20億円

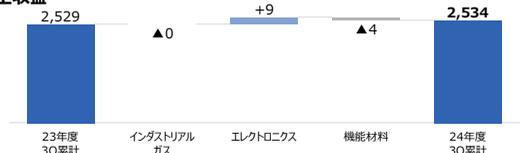
- 【+】
 - ・ 産業ガスの価格改定 ●
 - ・ 半導体関連向けオンサイトガス、機器等の販売増 ★
- 【-】
 - ・ 半導体製造装置向けOリングの販売減 ◆

● 産業ガス ★ エレクトロニクス ◆ 機能材料

ユニット別増減

(単位：億円)

売上収益



営業利益



© AIR WATER INC. | 10

続きましてセグメントごとに説明いたします。

デジタル&インダストリーの売上収益は2,534億円で5億円の増収、営業利益は247億円で20億円の増益となりました。

売上収益は、鉄鋼向けオンサイトガスの販売単価の下落に加え、機能材料分野で半導体装置向けOリングの在庫調整の影響を受けました。

一方で、ローリー、シリンダーによるガス供給の価格改定効果に加え、半導体工場の新増設に連動したオンサイトガス、ガス精製装置や熱制御装置などの機器の販売が増えたことにより、前年同期を上回りました。

営業利益は、Oリングの在庫調整影響を受けましたが、半導体工場向けのガス供給が好調だったことに加え、これまで実施してきたローリー、シリンダーによるガス供給の価格改定効果により、前年同期を上回りました。

産業ガスの製造コストの過半を占める電力コストは、前年同期と比較すると低下しています。鉄鋼を中心とした大型オンサイト工場は、電力コストに連動してガスの販売単価を決定する契約のため、売上が減少しますが、利益には影響しない構造となっております。

(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	429	459	+31	107.2%
営業利益	16	19	+3	120.3%
営業利益率	3.7%	4.1%	+0.4pt	-

主な増減要因

売上収益 +31億円

- 【+】 ・ 市況運動によるL Pガスの販売価格上昇 ●
- ・ L N G及びL N G関連機器の販売増 ◆

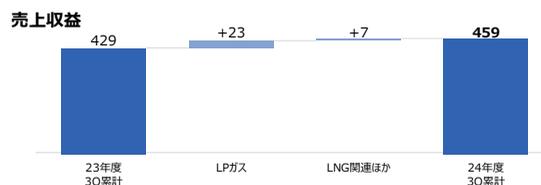
営業利益 +3億円

- 【+】 ・ 前年同期に在庫評価損を計上 ●
- ・ 家庭用ガスL Pガスの数量増 ●
- ・ L N G及びL N G関連機器の販売増 ◆

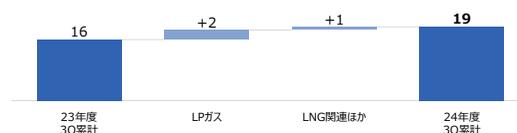
● L Pガス ◆ L N G関連他

ユニット別増減

(単位：億円)



営業利益



© AIR WATER INC. | 11

エネルギーソリューションの売上収益は459億円で31億円の増収、営業利益は19億円で3億円の増益となりました。

売上収益は、北海道を中心とした家庭向けL Pガスや灯油、またL N G製品が市況価格に連動し、販売価格が上昇したこと、さらにL N G、及びL N G関連機器の拡販も寄与したことから、前年同期を上回りました。

営業利益は、売上が増加したことに加え、前年同期に計上したL Pガス在庫評価損の影響がなくなり、増益となりました。

(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,657	1,765	+108	106.5%
営業利益	90	91	+1	101.5%
営業利益率	5.4%	5.2%	▲0.3pt	-

主な増減要因

売上収益 +108億円

- 【+】 ・ 医療サービス・消耗品の取扱増 ◆◆
- ・ 衛生材料の取扱増及び価格改定等 ■

営業利益 +1億円

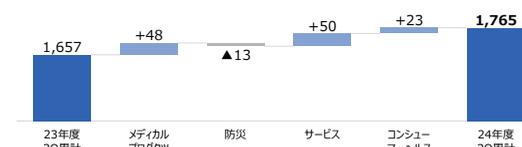
- 【+】 ・ データセンター等の防災関連工事が進展★
- ・ 医療機器の販売増 ●
- 【-】 ・ エアゾールの受託減 ■

●メディカルプロダクツ ★防災 ◆サービス ■コンシューマーヘルス

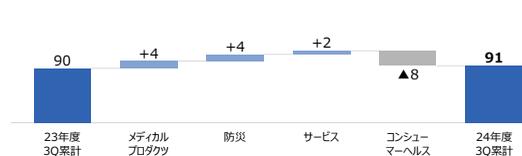
ユニット別増減

(単位：億円)

売上収益



営業利益



© AIR WATER INC. | 12

ヘルス&セーフティーの売上収益は1,765億円で108億円の増収、営業利益は91億円で1億円の増益となりました。

売上収益は、病院業務のアウトソーシング先として院内のSPD事業（物品管理業務）が拡大したことに加え、消耗品販売の伸長、衛生材料分野における価格改定の効果やデータセンター向けガス消火設備の工事案件が堅調に推移したこともあり増収となりました。

営業利益は、前年好調であったエアゾールの受託製造の減少した影響があったものの、データセンター向け工事案件が堅調に推移したほか、医療機器の販売増により、前年同期を上回りました。

(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,250	1,365	+115	109.2%
営業利益	67	68	+2	102.4%
営業利益率	5.3%	5.0%	▲0.3pt	-

主な増減要因

売上収益 +115億円

- 【+】 ・ 23年度に実施したM & Aの新規連結効果★
- ・ 野菜・果実系飲料等の受託増●
- ・ 冷凍ブロッコリー等の販売増◆

営業利益 +2億円

- 【+】 ・ 野菜・果実系飲料等の受託増●
- ・ 冷凍ブロッコリー等の販売増◆
- 【-】 ・ 畜肉等の原材料コスト増◆

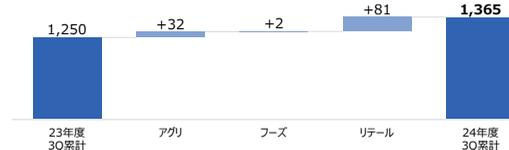
※24年度2Qより、アグリユニットとナチュラルフーズユニットを再編し、リテールユニットを新設。詳細はP22をご覧ください。

●アグリ ◆フーズ ★リテール

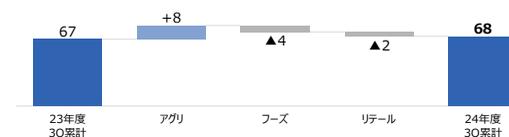
ユニット別増減

(単位：億円)

売上収益



営業利益



© AIR WATER INC. | 13

アグリ&フーズの売上収益は1,365億円で115億円の増収、営業利益は68億円で2億円の増益となりました。

売上収益は、野菜・果実系飲料の受託製造が好調に推移したこと、北米での冷凍ブロッコリーの販路拡大、北海道産馬鈴薯や人参等の取扱い量が増えたことから販売拡大に寄与しました。さらに九州で青果仲卸事業を展開する丸進青果(株)の前年度に新規連結した効果があり、増収となりました。

一方、営業利益は、売上増加に連動し利益を伸ばした一方で、フーズユニットにおける)ハム・デリカ事業で、豚肉などの原料価格上昇の影響を受けたことで、前年同期を少し上回りました。

(単位：億円)	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,582	1,725	+144	109.1%
営業利益	82	95	+13	115.8%
営業利益率	5.2%	5.5%	+0.3pt	-

主な増減要因

売上収益 +144億円

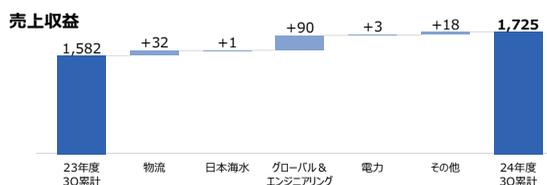
- 【+】
- 23年度に実施したM & Aの新規連結効果（北米）◆
 - 苅田バイオマス発電所の新規稼働（23年8月～）★

営業利益 +13億円

- 【+】
- 高出力UPS（無停電電源装置）事業の拡大◆
 - 小名浜バイオマス発電所における発電燃料であるPKS（パーム椰子殻）の調達コスト下落■
 - 23年度に実施したM & Aの新規連結効果（北米）◆
 - 価格改定及び4社協業による青果物等の取扱増（物流）●

●物流 ★日本海水 ◆グローバル&エンジニアリング ■電力 ▼その他

ユニット別増減



営業利益



© AIR WATER INC. | 14

その他セグメントの売上収益は1,725億円で144億円の増収、営業利益は95億円で13億円の増益となりました。

物流事業は、一般貨物輸送や3PL事業の食品輸送が堅調に推移したことや4社協業の取り組みによる青果物の取扱量も増加しました。さらに受託料金の適正化の取り組みも順調に推移し前年同期を上回りました。

㈱日本海水は、業務用塩の販売量回復などがありましたが、自治体向けの水処理設備の工事関連の進捗影響や、製塩などに関わる発電燃料のガス単価の上昇もあり、前年同期並となりました。

電力事業は、小名浜バイオマス発電所の稼働日数が増えたことや、発電燃料であるPKS（パーム椰子殻）価格の調達コストの下落、燃料の荷揚げ場所であるふ頭における滞船緩和施策などのコスト低減の取り組みが寄与したことで、前年同期を上回りました。

グローバル&エンジニアリング事業では、高出力UPS（無停電電源装置）がデータセンター市場の需要の高まり、半導体メーカーの設備投資の増加を背景に、引き続き好調に推移しました。また、インドでは、来年度の自社プラント稼働を見据え、新規顧客の獲得をすすめるとともに、鉄鋼向けオンサイトガス供給とタンクローリー・シリンダーによるガス供給ともに堅調に推移しました。北米は、前年度に新規連結したガスディストリビューター2社が収益貢献しました。

これらの結果、その他セグメントは売上収益・営業利益とも前年同期を上回りました。以上をもちまして、各セグメントの業績説明は終了となります。

(単位：億円)	2024年3月末	2024年12月末	増減	
			金額	率
流動資産	4,494	4,638	+145	103.2%
非流動資産	7,733	7,973	+240	103.1%
資産合計	12,227	12,612	+385	103.1%
流動負債	3,175	3,357	+182	105.7%
非流動負債	3,967	3,919	▲48	98.8%
負債合計	7,142	7,276	+134	101.9%
資本合計	5,085	5,336	+251	104.9%
負債・資本合計	12,227	12,612	+385	103.1%
親会社の所有者に帰属する持分	4,886	5,144		
有利子負債	4,433	4,577		
親会社所有者帰属持分比率	40.0%	40.8%		
ネットD/Eレシオ ※	0.77倍	0.76倍		

※「ネット有利子負債」÷「親会社の所有者に帰属する持分」

連結財政状態計算書についてです。

連結財政資産合計は、前期末と比較して、385億円増加し、1兆2,612億円となりました。資産は、有形固定資産取得等により385億円増加しております。

負債は、借入金等の有利子負債が134億円増加しました。なお、ネットD/Eレシオは0.76倍と大きな変化はございません。

	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減
(単位：億円)			
営業キャッシュ・フロー (①)	494	596	+102
投資キャッシュ・フロー (②)	▲822	▲525	+297
財務キャッシュ・フロー (③)	283	▲87	▲370
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	▲45	▲16	+29
現金及び現金同等物の四半期末残高	629	650	+21
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	▲328	71	+399

キャッシュ・フローの状況です。

営業キャッシュ・フローは、運転資本の改善がすすみ、前年同期を大幅に上回り、596億円となりました。また、投資キャッシュ・フローは、M&Aによる支出が減少し、マイナス525億円となりました。

フリー・キャッシュ・フローは、71億円とプラスに転じました。

2024年度 通期業績予想

© AIR WATER INC | 17

2024年度通期業績予想についてご説明いたします。

前回公表数値からの修正なし

	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	増減	
			金額	前期比
売上収益	10,245	11,000	+755	107.4%
営業利益	683	780	+97	114.2%
税引前利益	667	760	+93	113.9%
親会社の所有者に帰属する持分	444	500	+56	112.7%
営業利益率	6.7%	7.1%		
基本的 1 株当たり当期利益	194.69円	218.64円		
年間配当額	64.00円	64.00円		
設備投資額	733	940		

2024年度通期業績予想について、前回公表数値からの修正はございません。

	(単位:億円)	2023年度 (実績)	2024年度 (予想※)	増減	
				金額	率
 デジタル&インダストリー	売上収益	3,413	3,520	+107	103.1%
	営業利益	336	362	+26	107.8%
 エネルギーソリューション	売上収益	666	740	+74	111.1%
	営業利益	40	47	+7	116.3%
 ヘルス&セーフティー	売上収益	2,309	2,470	+161	107.0%
	営業利益	151	166	+15	110.1%
 アグリ&フーズ	売上収益	1,626	1,800	+174	110.7%
	営業利益	69	80	+11	115.7%
 その他 (物流・日本海水・グローバル&エンジニアリング・ 電力・その他)	売上収益	2,232	2,470	+238	110.7%
	営業利益	109	147	+38	135.2%
(調整額)	営業利益	▲22	▲22	+0	—
合 計	売上収益	10,245	11,000	+755	107.4%
	営業利益	683	780	+97	114.2%

※2024年11月7日に公表した見直し予想

※2024年度に連結子会社のセグメント区分の変更を行ったため、前年同期の数値も、変更後のセグメント区分に組み替えて表示。

セグメント別の業績予想です。

第2四半期決算発表時に公表したセグメント間の業績予想から変更はございません。

配当基本方針

配当性向30%を基準とし、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行う

(単位：円)	2022年度 (実績)		2023年度 (実績)		2024年度 (予想)
配当性向	33.9%		32.9%		29.3%
基本的1株当たり 当期利益※1	176.84	▶	194.69	▶	218.64
中間配当金	28.00		30.00		32.00
期末配当金	32.00※2		34.00		32.00
年間配当金	60.00		64.00		64.00

※1 基本的1株当たり当期利益は期中平均発行株式数により算出。

※2 2022年度の期末配当金は「売上収益1兆円の達成」に伴う記念配当4円を含めて表示。

配当についてご説明いたします。

24年度の中間配当は一株あたり32円で実施いたしました。
年間配当金64円と、前回公表数値からの修正はございません。

以上で、第3四半期決算のご説明を終了いたします。

補 足 資 料

セグメント別 主な事業内容

グループ	ユニット	主な事業内容
デジタル&インダストリー (D&I)	インダストリアルガス	産業ガス（酸素・窒素・アルゴン・炭酸ガス・水素・ヘリウム等）、産業ガス関連機器・工事
	エレクトロニクス	半導体メーカー向けガス供給、特殊ガス・ケミカル、ガス精製装置、半導体製造装置向け機器、化成品
	機能材料	電子材料、回路製品、精密研磨パッド、Oリング、基礎化学品、食品向け化学品、マグネシア
エネルギーソリューション (ES)	エネルギー	L P ガス・灯油、L P ガス関連機器、L N G 関連機器、低炭素・脱炭素関連の事業開発
ヘルス&セーフティ (H&S)	メディカルプロダクト	医療用ガス、医療機器、在宅医療、歯科材料
	防災	病院設備工事、ガス系消火設備、呼吸器
	サービス	S P D（病院内の医療材料・医薬品の調達・運用の一元管理）、滅菌
	コンシューマーヘルス	衛生材料、エアゾール、注射針、化粧品
アグリ&フーズ ※ (A&F)	アグリ	飲料、農産加工、農業機械
	フーズ	ハム・デリカ、スイーツ、冷凍野菜
	リテール	青果卸・小売、産直市場
その他	物流	運送、食品物流、医療・環境物流、車体架装
	日本海水俵	塩、環境、木質バイオマス発電（兵庫県赤穂市、福岡県刈田町）
	グローバル&エンジニアリング	産業ガス（インド・北米）、ガス関連機器、エンジニアリング、高出力UPS（無停電電源装置）
	電力	木質バイオマス発電（福島県いわき市）
	その他	建設工事

※2024年度2Qより、アグリユニットとナチュラルフーズユニットを再編し、リテールユニットを新設。旧ナチュラルフーズユニットに含まれていた飲料事業をアグリユニットに移管。旧アグリユニットに含まれていた青果卸・小売、産直市場の事業をリテールユニットに移管。

【季節性】 D&I/H&S：機器・工事は、年度末である4Qに集中。
 ES：L P ガス・灯油は、給湯・暖房用に冬場（3・4Q）に集中。
 A&F：飲料は、最需要期である夏場（2・3Q）に集中。
 ハム・デリカ、スイーツはクリスマス、お正月、お歳暮で冬場（3・4Q）需要増。
 青果は、冬場（4Q）が閑散期。

	2024年3月末	2024年12月末	増減
連結子会社※	138	131	7社減少
持分法適用会社	12	10	2社減少
合 計	150	141	9社減少

※連結子会社の数には、当社が直接連結経理処理を実施している会社のみを含めており、連結子会社が連結経理処理を実施している関係会社はその数から除外しています。なお、上記連結子会社には、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）を含んでいます。

2024年度 第3四半期 主な新規連結会社

該当する会社はありません。

（参考）2023年度 主な新規連結会社

会社名	セグメント	業績取込期間
(株)日本海水TTS苅田パワー	その他	1-4Q（連結開始：2Q）
丸進青果(株)	アグリ&フーズ	3-4Q（連結開始：3Q）
Phoenix Welding Supply LLC.	その他	1-4Q（連結開始：3Q）
American Gas Products, Inc.	その他	3-4Q（連結開始：4Q）

ユニット別 売上収益

(単位：億円)

グループ	ユニット	23年度3Q累計	24年度3Q累計	増減	前年同期比
デジタル& インダストリー	インダストリアルガス	1,324	1,324	▲0	100.0%
	エレクトロニクス	714	723	+9	101.3%
	機能材料	491	487	▲4	99.1%
	グループ計	2,529	2,534	+5	100.2%
エネルギー ソリューション	L Pガス	405	428	+23	105.8%
	L N G関連ほか	24	31	+7	130.1%
	グループ計	429	459	+31	107.2%
ヘルス& セーフティ	メディカルプロダクツ	574	621	+48	108.4%
	防災	245	232	▲13	94.7%
	サービス	424	474	+50	111.8%
	コンシューマーヘルス	415	438	+23	105.5%
	グループ計	1,657	1,765	+108	106.5%
アグリ&フーズ	アグリ	545	578	+32	105.9%
	フーズ	402	404	+2	100.4%
	リテール	303	384	+81	126.8%
	グループ計	1,250	1,365	+115	109.2%
その他	物流	465	498	+32	106.9%
	日本海水	364	365	+1	100.3%
	グローバル&エンジニアリング	554	644	+90	116.2%
	電力	99	102	+3	103.0%
	その他	100	118	+18	117.5%
	グループ計	1,582	1,725	+144	109.1%

(単位：億円)

グループ	ガス種	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	増減	
		金額	金額	金額	率
 デジタル&インダストリー	酸素	300	282	▲18	94.0%
	窒素	286	284	▲2	99.4%
	アルゴン	102	96	▲5	89.2%
	炭酸ガス	182	190	+8	104.3%
	水素	43	46	+3	107.7%
	ヘリウム	31	37	+6	119.9%
	その他ガス	173	139	▲34	80.3%
 エネルギーソリューション	L Pガス	223	237	+14	106.2%
	灯油	64	66	+2	102.4%

※海外における産業ガス及びL Pガス、灯油の売上収益は含めていません。

(単位：億円)

グループ	23年度3Q累計	24年度3Q累計	増減	
			金額	率
 デジタル&インダストリー	212	218	+6	103.0%
 エネルギーソリューション	12	17	+6	149.3%
 ヘルス&セーフティー	81	84	+2	102.8%
 アグリ&フーズ	62	65	+2	103.6%
 その他	70	87	+17	124.6%
(調整額)	37	33	▲5	87.1%
合計	475	504	+29	106.1%

※事業利益：営業利益からその他収益・費用を控除した利益

(単位：億円)

会社名	23年度3Q累計	24年度3Q累計	増減	
			金額	率
エア・ウォーター北海道(株)	729	785	+56	107.7%
エア・ウォーター東日本(株)	719	747	+28	103.9%
エア・ウォーター西日本(株)	627	743	+116	118.5%
3社合計	2,075	2,275	+200	109.7%

※上記は各地域事業会社の連結業績数値

(単位：億円)

会社名／事業名	セグメント	23年度3Q累計	24年度3Q累計	増減	
				金額	率
エア・ウォーター・マテリアル㈱	デジタル&インダストリー (エレクトロニクス)	372	378	+6	101.6%
エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル㈱	デジタル&インダストリー (機能材料)	241	233	▲8	96.6%
タテホ化学工業㈱	デジタル&インダストリー (機能材料)	67	69	+2	103.2%
川本産業㈱	ヘルス&セーフティ (コンシューマーヘルス)	223	251	+28	112.4%
エア・ウォーター・リアライズ㈱	ヘルス&セーフティ (コンシューマーヘルス)	179	198	+18	110.3%
ゴールドバック㈱	アグリ&フーズ (アグリ)	416	436	+20	104.8%
エア・ウォーター小名浜バイオマス電力㈱	その他の事業 (電力)	99	102	+3	103.0%
インド産業ガス分野※	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	150	152	+2	101.2%
北米・欧州産業ガス分野※	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	205	301	+95	146.4%
高出力UPS分野※	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	199	203	+4	102.3%

※各グループ会社の単純合算。内部取引消去前の数値。

売上収益・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 ● 営業利益



※利益は2018年度までは日本基準における「経常利益」、2019年度以降はIFRS基準における「営業利益」を表示

(単位：億円/%)

■ 当期利益 ● ROE

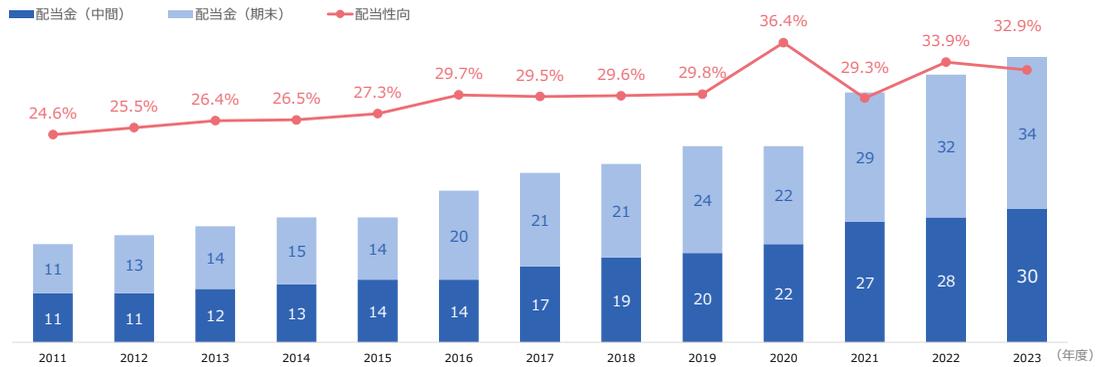


※2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

配当に関する基本方針

配当性向30%を基準とし、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行う

(単位：円)



※2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

リリース日	トピック
11月14日	■ 家畜ふん尿由来バイオメタンを雪印メグミルク㈱に供給
11月26日	■ 極低温技術を利用した青果物の「急速冷却システム」を開発
11月26日	■ (株)プリンテック 複合化が容易で、高耐熱、低熱膨張、低誘電を実現する次世代半導体パッケージ用高性能樹脂、コア基板を開発
11月29日	■ 東宝スタジオのCO ₂ ゼロエミッション化に貢献する水素発電設備向けに水素を供給
12月5日	■ 北海道の社会課題解決に関わる新事業の創造、開発、発信拠点『エア・ウォーターの森』が12月6日に開業
12月6日	■ 北海道大学とエア・ウォーター株式会社との連携協定締結、協働教育研究支援について
12月12日	■ エア・ウォーター北海道「ふるさと応援H（英知）プログラム」が優良事例として表彰
12月24日	■ グリーンイノベーション基金事業 廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現CO ₂ 分離回収を前提とした廃棄物焼却処理技術の開発に参画
12月25日	■ 産業・医療ガスの価格改定について
1月9日	■ 製造時におけるCO ₂ 排出を実質ゼロにした「グリーンメニュー」を展開
1月23日	■ 半導体・電池材料開発の中核拠点となる新研究棟「湘南イノベーションラボ」を開所

■ デジタル&インダストリー ■ エネルギーソリューション ■ ヘルス&セーフティ ■ アグリ&フーズ ■ その他

地球の恵みを、社会の望みに。



注 記 事 項

- ・本資料に掲載されている目標数値及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おください。
- ・当社の財務情報は、IFRS（国際会計基準）に基づき作成しております。